広報
さめがわ

平成元年
10月号
No. 430
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所



鮫中駅伝チーム，県大会で２年連続優勝！

「第32回福島県中学校駅伝競走大会」が、10月５日西郷村（８区間 31．4 km）で29チームが参加して行われ、東白川郡代表として出場した鮫川中学校は、１時間42分27秒のタイムで優勝し、見事２連覇を果しました。

１区を２位でスタートしたあと４区でトップになり、５区で２位になったものの、６区で再びトップに立ち、そのまま２位の石川中に２分９秒の差をつけて優勝したものです。

これで２年連続の優勝となり、“陸上王国鮫川”の名を県内に広めました。

このあと、秋田県で開催される東北大会にも出場することになっており、上位入賞が期待されます。

10月１日～12月31日	赤い羽根共同募金運動
10月11日～20日	全国防犯運動
10月15日～21日	行政相談週間
10月22日	消防団秋季検閲

今月の人口

（10月１日現在）

		前月比
人口	5,433	（－５）
男	2,685	（－１）
女	2,748	（－４）
世帯数	1,138	（０）

ふるさと創生事業

ふるさと創生事業検討委員会

検討結果を村長に報告

ふるさと創生事業検討委員会では、国から交付されるふるさと創生事業費一億円の使途について検討中でしたが、九月二十九日、検討結果をとりまとめ、蛭田一会長から芳賀村長に報告されました。

さきに村民の皆さんから提案のありました一六三件のアイディアを中心に六回にわたり委員会で慎重に検討の結果とりまとめたものです。

報告内容は次のとおりです。

◎村の将来像としての基本テーマ選定

〝豊かな自然とぬくもりのあるふるさと鮫川〟

◎ふるさと創生事業検討結果

ふるさと創生事業について六回にわたり慎重に検討の結果、鮫川村振興計画の基本構想並びに村の将来像としての基本テーマに基づき、ふるさと創生事業として、次の事業が適当と認められる。

健康な村づくりと住みよい環境の整備

○人づくり

○いこいとふれあい施設の整備

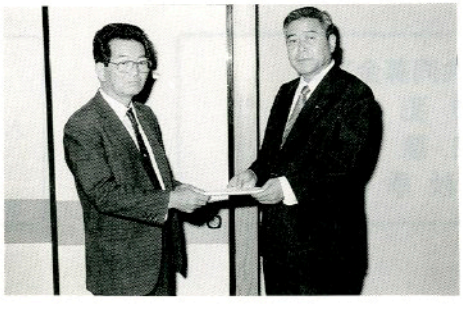
○名所旧跡保護整備と伝統文化の継承

◎附帯要望事項

○ふるさと創生事業アイディアの中に多数の貴重なアイディアがあり、今後村の行政執行において十分活用していただきたい。

○村の振興計画の見直し等においても、住民の意志反映のため、懇談会等を設置し検討されるよう要望する。





退任にあたって

矢部元良



私こと、このたび九月三十日で任期満了により退任いたしました。

八年間、澄んだ空気、うまい水、人情味の豊かさを満喫でき、小中学生の水泳、陸上の実績、特に鮫中の駅伝は、県優勝の金字塔を打ち立てたことは何といっても素晴らしいの一語に尽きます。県のトップに立つことは至難のことであります。

竹飛歩学園の開園も画期的な試みで昭和六十三年二〇〇名余、平成元年度は三〇〇名を超す圧倒的な希望者があったこと、清水先生を中心に現代っ子の育て方の先端をいく試みを始め、オオムラサキの飼育や緑の少年団・スポーツ少年団の活動、ソニー奨励賞の受賞、職員研究論文の入選を筆頭に個性のある学校経営など、思い出多い八年間で、教諭一六年、教頭六年、校長一六年の中では味わいない体験でした。

あとに残された余生を塙の地で静かに悠々自適の日々を送りたいと思います。

教員になって五一年、石川町一五年、平田村九年、鮫川村八年、浅川町三年、古殿町三年、玉川村二年、矢祭町三年、塙町一一年の八町村を住民として渡り歩き町村のそれぞれの良さを感じとり人生勉強になりました。

最後に鮫川村の益々のご発展と、村民皆様の限りないおしあわせを祈って、退任のごあいさつといたします。

（塙町桜木町三三六の八）

新しい教育長に前田守保さん

このたび、教育長の任期満了により、十月一日付で新しい教育長に前田守保さんが任命されました。

前田教育長さんは、矢部元良前教育長の後任として、村議会の同意を得て教育委員に任命され、次いで教育委員会の会議で教育長に選任されました。

前教育長の矢部さんには、昭和五十六年十月に就任以来、八年間にわたって本村の教育行政に尽力され、たいへんご苦労様でした。

新任の前田守保さんは、昭和二十八年十月村役場に奉職以来、住民課、学校教育課、建設課、企画調整課、総務課の各課長を歴任された行政のベテランで、今後の活躍が期待されます。

村職員人事

（10月1日付）

◇異動

▼総務課長（鮫川保育長兼西山児童館長）鈴木英亮▼鮫川保育所長兼西山児童館長（総務課長補佐）藤田洋美

◇新採用

総務課財政係＝田子勉



ごあいさつ

前田守保

私こと、このたび三六年間在職した鮫川村職員を退職し、十月一日付をもって鮫川村教育委員（教育長）を拝命し就任いたしました。

もとより浅学非才なる身で重責を負うこととなりましたが、誠心誠意をもって本村の教育伸展のため努力する所存であります。ご承知のように今や時代に即応した教育の改革が強く求められ、臨時教育審議会の答申においても「個性重視の原則」、「生涯学習体系への移行」、「変化への対応」を教育改革の視点として答申されております。

いわゆる二一世紀に向かって社会成熟化への展開、情報中心の科学技術への転換、新しい国際化への移行の時期に在り、これらがもたらす可能性と問題点を見定めることが一番肝要であることを明確にしております。

こうした時代的要請に応えるためにも、本村教育の理念として確立されている「ゆたかな人間性と創造性及び自主性に充ちた健康な人間形成を目指す生涯教育の推進」を継承し、微力をもって尽くしたい所存でありますので、皆々様の温いご理解とご指導ご協力をお願いいたしまして就任のごあいさつといたします。

実践さながら 火災防御訓練

九月二十四日早朝、渡瀬字中野町地内で鮫川村消防団と常備消防鮫川分署合同の火災防御訓練が行われました。

渡瀬保育所近くで火災が発生したとの想定で、電話で一一九番通報したあと、直ちに鮫川分署から同報無線で緊急放送され、消防団員と分署員が出動し、消火にあたりました。

今回の訓練では、同報無線が出来てから初めて、屋外子局を利用して指揮命令し、部署に着きましたが、伝達、中継などの動作も的確に行われました。

訓練終了後、渡瀬保育所前庭で芳賀村長と岡部団長からあいさつと講評がありました。





昭和63年度 決算状況

一般会計歳出 23億8931万円

昭和六十三年度歳入歳出決算は、九月の定例村議会で審議され、一般会計・特別会計とも九月二十五日に認定されました。その決算状況をお知らせします。

歳入決算の状況

歳入決算の状況は図1のとおりで、総額二四億三、二一二万一、五九五円となり、前年度に比べて三億六、六二二万三、一七八円（一七・七％）の増となりました。

費目別にみると、歳入のトップは地方交付税で、全体の五〇・四％を占め、次いで村債の一四・七％、県支出金の九・六％、国庫支出金の七・四％、村税の七・四％となっています。

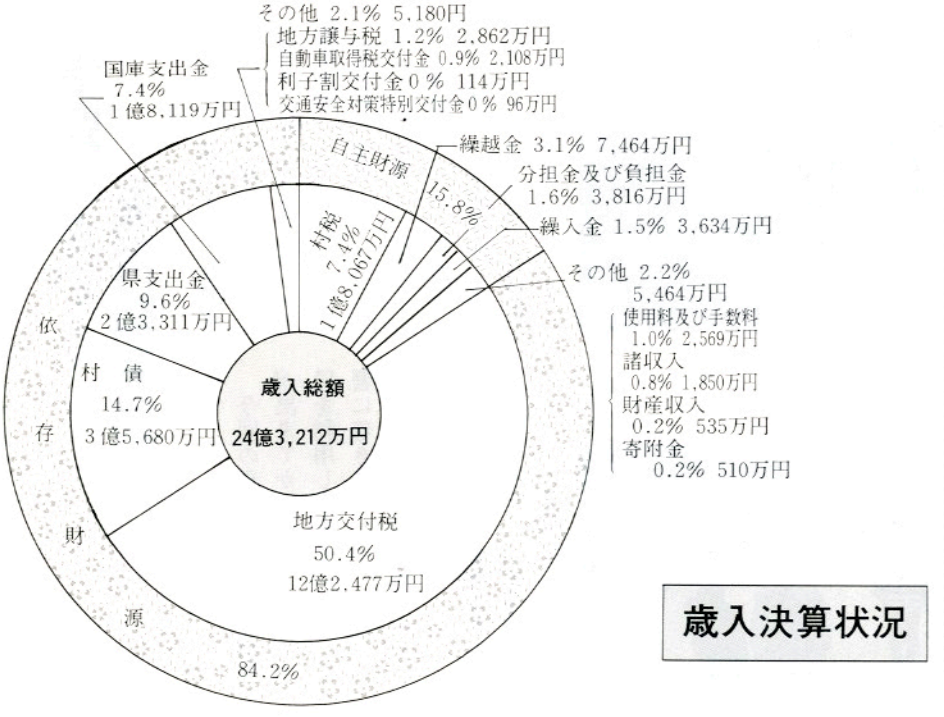
地方交付税の中には、ふるさと創生事業一年目の交付金二、〇〇〇万円が含まれています。

前年度に比較して伸び率の著しい費目は、自主財源では寄附金の二、二二四％の増、繰越金の三四・八％、諸収入六〇・七％増などで、依存財源では、県支出金の五六・三％、村債の四六・四％、国庫支出金の一五・一％増などです。

決算収支の状況

区　分	昭和63年度
歳入総額 A	2,432,121,595円
歳出総額 B	2,389,311,574
歳入歳出差引額 C（A－B）	42,810,021
翌年度へ繰り越すべき財源 D	—
実質収支額 E（C－D）	42,810,021
単年度収支額 F	△ 31,833,305
積立金 G	39,703,349
積立金繰出処分額 I	35,000,000
実質単年度収支額 J（F＋G－I）	△ 27,129,956

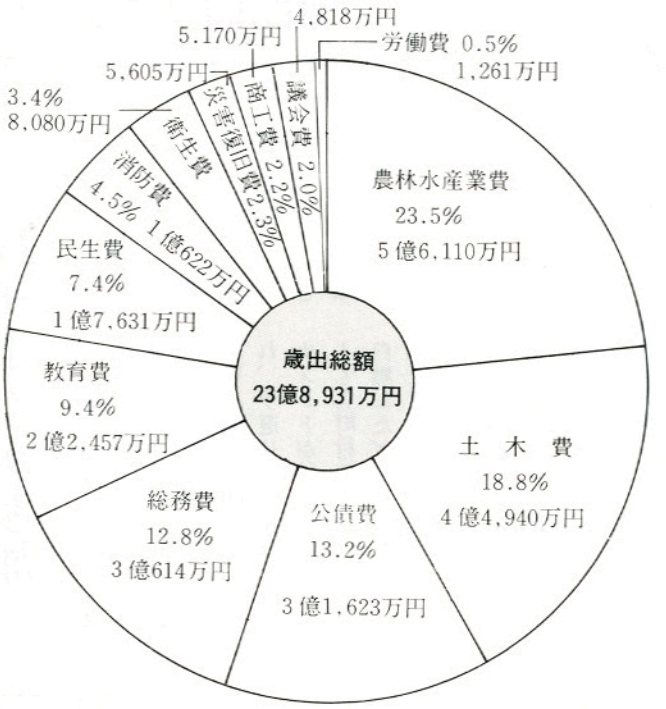
図1



歳入決算状況

図2

歳出決算状況



歳出決算の状況

歳出決算の状況は図2のとおりで、総額で二三億八、九三一万一、五七四円となり、前年度に比べて三億九、八〇五万六、四八三円（二〇%）の増となりました。

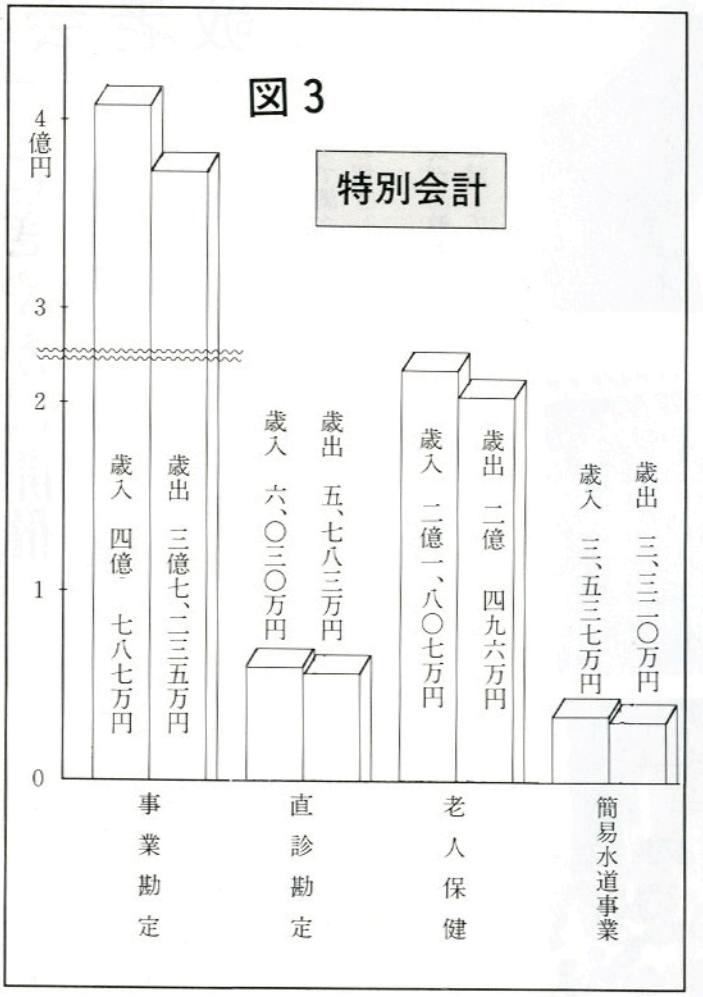
費目別にみると、トップは農林水産業費で全体の二三・五%で前年比で四三・七%（一億七、〇六五万円）の増となっています。これは、第三期山振農林漁業対策事業費、土地改良総合整備事業費、地籍調査事業費、林道整備事業費などの増です。

次に土木費の一八・八%で前年比二七・四%（九、六六八万円）増で緊急地方道路整備事業の実施によるものです。

商工費は、鹿角平観光施設整備費の増、消防費は、同報無線戸別受信機設置事業費の増によるものです。

図3

特別会計



東白川老人クラブ連合会ゲートボール大会

郡内4町村から16チームが参加





ゲートボールを通し、健康で豊かな老後をめざすと共に、老人クラブ会員相互の親睦を深めることを目的とした「第八回東白川老人クラブ連合会ゲートボール大会」が、九月二十八日村さぎり荘ゲートボール場を会場にして、郡内四町村から一六チームが参加して開催されました。

鷲野谷村老人クラブ連合会長の開会宣言に続いて、菊池郡連合会長（矢祭町）があいさつ、次に芳賀村長が歓迎のことばを述べました。

引き続き、四コートに分かれ、予選リーグ戦、決勝トーナメントが行われ、どのチームも各町村の代表とあって、白熱したゲームが展開されました。

本村からは、村大会を勝ち抜いた西野、西山、東石、渡瀬の各チームが出場し、健闘しました。

敬老会

にぎやかに開催

平成元年度の敬老会が、九月十五日の敬老の日に午前十時から山村開発センターで満六九歳以上の高齢者をお招きして開催されました。

まず、芳賀村長が高齢者の今までのご労苦に対して感謝のことばを述べ、二十一世紀に向けて福祉社会を築いていくことを誓いました。

続いて、八〇歳になられた方と八八歳の米寿を迎えられた方、結婚五〇年の金婚夫婦の代表の方々にそれぞれ村長から記念品が贈られました。

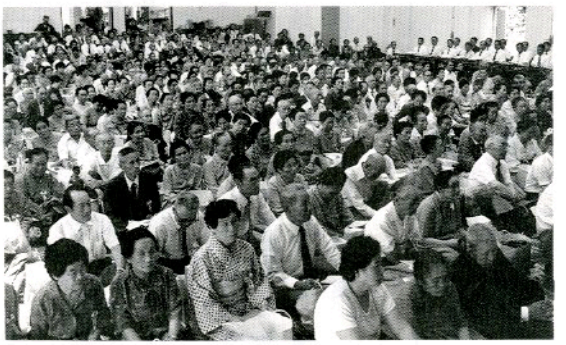
来賓の方々から祝辞があり続いて鮫川小六年の高木奈津美さんと、鮫川中一年の藤田真弓さんが作文を朗読しました。

続いて招待者を代表して岡部長治さんが謝辞を述べました。

慰安演芸では、昨年に続いて「鮫川村ふる里文化芸能クラブ」の皆さんによる民謡、民舞、詩吟などが披露されました。途中、招待者の飛び入りもあり、最後に出演者と会場の皆さん全員で「もみじ」を合唱して閉会しました。



▶村長から敬老年金を受け取る高齢者



▶会場は招待された高齢者の皆さんでいっぱい



▶ふる里芸能クラブの皆さんによる演芸

交通安全テント村実施

秋の全国交通安全運動期間中の九月二十二日、交通安全協会鮫川支部・母の会役員・交通指導隊などが参加して、村内七か所で「交通安全テント村」が実施されました。

この日は、午前中は雨で実施が危ぶまれましたが、各大字の沿道で交通安全を呼びかけました。



▶交通安全テント村

交通安全啓発塔設置

交通安全協会鮫川支部（支部長＝早川光久さん）では、このたび、交通安全思想の普及と交通事故防止を図るため、大塩と渡瀬上地内の二か所に「交通安全啓発塔」を設置しました。

これは、鮫川運送のご協力により、ドラムカン三本を溶接して下に古タイヤを取り付け、塗装して標語を書き入れたものです。

走行中、遠くからでも目につき、ドライバーの皆さんからも好評です。



▶交通安全啓発塔を設置（渡瀬・上地内）

土曜閉庁のお知らせ

九月の定例村議会で「鮫川村の休日を定める条例」が可決され、十一月から一部の施設を除いて村の機関は第二土曜日と第四土曜日が休みになります。

なお、これらの土曜日には日曜・祝日と同じように午前八時三十分から午後五時十五分までは日直が勤務します。

村の施設・機関で閉庁する部門は次のとおりです。

◎**閉庁部門（施設）**

- 役場庁舎（総務課・企画調整課・住民課・出納室・議会事務局・選挙管理委員会）
- 公民館（建設課）
- 農業技術指導センター（農林課・畜産指導室・農業委員会）
- 山村開発センター（学校教育課・社会教育課）
- 学校給食センター

◎**開庁部門（施設）**

- 診療所
- 鮫川保育所・渡瀬保育所・西山児童館
- 学校教育課のスクールバス運行
- 開発センターの施設の使用業務
- 農業者トレーニングセンター
- 幼稚園
- 歴史民俗資料館
- さぎり荘

日	月	火	水	木	金	土
村	の	施	設	(機	関)	は
一部を除いて		11	月	か	ら	土
第	2	・	第	4	土	な
日	が	休	み	と		
り	ま	す	。			

（は日本閉庁日）

（は日本閉庁日）

つえなどを寄贈

鮫中生徒会

鮫川中学校生徒会（会長＝須藤博さん）では、生徒会活動「ふるさとの時間」の中で何か郷土に役立つことはできないかと考え、みんなでペーパーフラワーや竹細工などを制作しました。

このたび、これらの作品ができあがり、先生と生徒一五人が村役場を訪れ、竹ボーキ二本、造花（ペーパーフラワー）七本、つえ一〇本、花びん二個を緑川助役に手渡しました。

村では、早速これらの作品を有効に使おうと村の施設やお年寄りに配布しました。

農業経営者海外派遣事業報告

このたび、平成元年度福島県農業経営者海外派遣事業で本村の長久保誠一さん（＝大字渡瀬字青生野）は、九月五日から十八日まで一四日間、西ドイツ・スイス・デンマーク・オランダ・フランス各国の農業経営状況を視察されました。

長久保さんは、現在水稲、野菜（トマト・インゲン）、畜産の複合経営を行っており、規模拡大を図るなど意欲的に農業に取り組んでいます。

今月号から三回に分けて研修報告を掲載します。

福島県経営者海外派遣事業に参加して

長久保　誠一



▲　ドイツの肥育農家にて

私達一行（四二名）は、九月五日夜十時三十分成田発の日本航空の飛行機で西ドイツに向って出発。約一五時間で六日朝七時五十分に西ドイツ・デュッセルドルフ空港に着き、ここから通訳の須藤さんにお世話になることになった。

専用バスにて、ボン市内に入り昼食をとるためレストランに向った。昼食前一時間くらい時間があり、レストラン近くの市内でテントを張った屋外店を見た。

昼食後、午後二時からボン近効での野菜農家シュミッツ＝ハーエンラエツ氏宅を視察。この農家では、イタリア人には絶対にかかせない野菜だというクノエンケン（玉ねぎとニンジンを交配したような野菜）を長期計画により栽培しているという。これは、イタリアよりも気候が寒く、寒さにつよい野菜だからである。このほか、ラバンバーというセロリ系の野菜を五～六月に出荷、今はバンタムを出荷していた。

午後四時から、リンデマン、ベルク農場を視察。大麦、小麦えん麦、ライ麦を二五〇ha栽培しているという。この地方では一、〇〇〇戸の農家があり、半分は専業農家で四一ha平均の耕地をもってそのうち六〇%は借地であるという。

これは小さな農家が農業をやめ、みなサラリーマンになっているからである。

ここでの話しの中で、飲料水については、硝酸と石灰によって汚染されていて、原因は山林がなく雨が少ないため科学肥料散布によるもので、肥料の削減をしているという。

このほか減反問題では、日本と同じようである。消費税については、昔からであたりまえのことであるという。所得税については収入の四〇%を払っているという。これで、この国は税金国であるといわれている。

七日、グライナント地方の果樹農家を視察。

ドイツ全体で四・五千ha、一戸平均五～一〇haで一番にリンゴ、イチゴ、サクランボ、ウメといった順である。Myクラインヨーセン氏の果樹一三haを視察。収量は、一ha当り二〇～三〇tで栽培方法は、木は二メートルくらいの高さでトマトみたいに木のそばに実がなり、木は一〇年から一二年で新しいものに植え換えをいるため、この収量を保っているのだと思った。

次に、ドイツ最大のロイスドルフ中央市場を視察。市場面積が一七haもある広びろとした市場であった。セリは上から下に下がる方式で一時間たらずでセリは終る。

午後オイスキルヘン州の農業会議所で懇談会を行った。この州では、補助金により村の崩壊を助けるため、住まいの環境を整備したり、農地の用水の整備あるいは景観の整備をしているという。

農家の規模拡大をはかって、また最も力を入れていることは、いるということである。

その後、ブッツ氏の自給飼料による一〇〇頭の肥育牛経営を視察。飼料として、大麦、小麦砂糖大根、ライ麦、それにミネラル飼料で導入から出荷まで同じ与え方で、六〇〇kg仕上げの経営をしている。また八五haの耕地をブッツ氏と奥さんの二人でこなしている、とのことである。

八日、グッテンベルク、キイルツ宅のぶどう園を視察。面積は約七ヘクタール。畑で収穫と同時にしぼって、自家性ワインを作っている地下にレストランをひらき、ここで昼食をした。このとき、ワインの飲みくらべをしたがさすが本場のワインという感じがした。

ドイツ最後の観光として、ライン川舟下りをしたが、びっくりしたのは、この舟に乗っていた人の大半が日本人ばかりであったことである。

三十分の舟下りを終え、バーデンに向った。



▶ドイツの畑作地帯

村内小学校陸上競技記録会



小雨の中、開催

折りからの台風二二号の影響を受け、小雨が降る中「第一六回鮫川村小学校陸上競技記録会」が青少年広場で行われました。

天候が悪かったため、入場行進と開会式は取り止め、すぐに競技を開始しました。今年は、グランドコンディションが悪かったこともあって、新記録は三つにとどまりました。

成績は次のとおりです。

男子

◆三年＝▼五〇㍍走①生田目宏好（鮫川）②赤坂博史（渡瀬）③根本潔（西山）▼走り幅跳び①関根政幸（西山）②芳賀利幸（鮫川）③生田目宏好（鮫川）

◆四年＝▼五〇㍍走①岡部愛章（鮫川）②根本幸治（富田）③舟木敏也（西野）▼中距離走（六〇〇㍍）①緑川友和（西山）②湯坐久（鮫川）③円井利幸（鮫川）▼走り幅跳び①矢吹祐二（鮫川）②舟木敏也（西野）③岡部和彦（青生野）

◆五年＝一〇〇㍍走①矢吹勇逸（西野）②斉藤章（鮫川）③金沢正人（鮫川）▼八〇㍍ハードル①金沢正人（鮫川）②芳賀喜徳（鮫川）③須藤勝広（西野）▼中距離走（八〇〇㍍）①須藤勝広（西野）②藤田孝典（渡瀬）③高坂健作（西野）▼走り幅跳び①矢吹勇逸（西野）②我妻伸一（西山）③蛭田浩寿（渡瀬）▼走り高跳び①芳賀喜徳（鮫川）②矢吹哲也（西野）③関根俊久（西山）▼ソフトボール投げ①矢吹哲也（西野）49㍍15㌢《大会新》②蛭田浩寿（渡瀬）③金沢正人（鮫川）

◆六年＝一〇〇㍍走①鈴木隆裕（鮫川）②舟木貴志（西野）③高野英雄（西山）▼八〇㍍ハードル①佐川竜男（鮫川）②金沢由樹（鮫川）③須藤信二（西野）▼中距離走（一〇〇〇㍍）①鈴木隆裕（鮫川）②沢口誠治（青生野）③本郷一幸（鮫川）▼走り幅跳び①霜田利幸（西野）②金沢由樹（鮫川）③矢吹靖弘（鮫川）▼走り高跳び①前田照文（鮫川）②佐川竜男（鮫川）③片野智美（富田）▼ソフトボール投げ①舟木貴志（西野）②鈴木隆裕（鮫川）③渡辺純一（鮫川）

◆四〇〇㍍リレー①鮫川小A②西山小③西野小

女子

◆三年＝▼五〇㍍走①緑川澄子（鮫川）②金沢かおり（鮫川）③鈴木英里（西山）▼走り幅跳び①緑川澄子（鮫川）②芳賀咲子（渡瀬）③根本裕子（西山）



◆四年＝▼五〇㍍走①大竹祥子（西山）②田子理恵（鮫川）③松本淳子（富田）▼中距離走①芳賀朋子（鮫川）②中川西ミユキ（鮫川）③田子理恵（鮫川）▼走り幅跳び①芳賀朋子②本郷祐子（西山）③片野みゆき（富田）

◆五年＝▼一〇〇㍍走①芳賀由喜子（渡瀬）②矢吹博子（西野）③中川西純子（鮫川）▼八〇㍍ハードル①田子珠美（鮫川）16秒3《大会新》②高坂祥子（西野）③山本恵子（鮫川）▼中距離走（六〇〇㍍）①矢吹博子（西野）2分00秒8《大会新》②田子珠美（鮫川）③金沢暁恵（鮫川）▼走り幅跳び①芳賀由喜子（渡瀬）②金沢暁恵（鮫川）③中川西純子▼走り高跳び①鈴木麻子（西野）②芳賀ゆかり（渡瀬）③信太絵美（鮫川）▼ソフトボール投げ①芳賀由喜子（渡瀬）②山形さつき（青生野）③信太絵美（鮫川）

◆六年＝▼一〇〇㍍走①橋本玲子（鮫川）②北條真澄（西野）③森栄美子（鮫川）▼八〇㍍ハードル①白坂咲美（鮫川）②宗田香織（鮫川）③鈴木恵美子（西野）▼中距離走（八〇〇㍍）①我妻由美子（西山）②舟木順子（西野）③森栄美子（鮫川）▼走り幅跳び①北條真澄（西野）②橋本玲子（鮫川）③矢吹百恵（富田）▼走り高跳び①長田ゆかり（鮫川）②板橋茂子（西山）③舟木順子（西野）▼ソフトボール投げ①岡部有希（青生野）②塩田育恵（鮫川）③矢吹祐枝（鮫川）

◆＝四〇〇㍍リレー①鮫川小A②西野小③西山小

お元気ですか

保健婦です

大人に多い 歯槽膿漏症

歯が動いたり、抜けたりしないように、あごの骨にしっかりささえている組織があります。

これら歯をささえているものに、歯肉、歯根膜、歯槽骨、セメント質（図1）などがありますが、これらの組織に炎症が生じて、化膿性の細菌感染がおこりますと、徐々に破壊されて、分解をおこします。その結果、歯のささえが取れて歯が動きだしたり、歯と歯肉の間からうみが流れ出たりして、ついには歯が食物をかむのに役に立たずに抜けたりする疾患を歯槽膿漏症といっています。

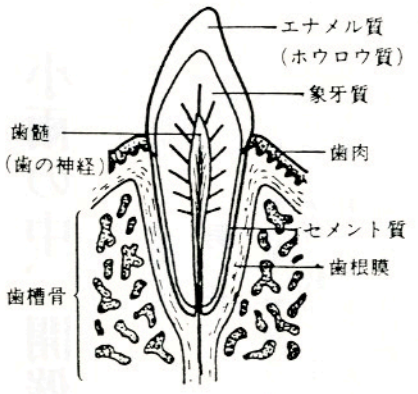


図1　歯の構造

症状

歯槽膿漏症の症状は、初期の段階では、ほとんど自覚できません。

◎歯肉の縁が赤くはれて、ちょっとした刺激に対しても出血しやすく、歯と歯肉の縁が離れやすくなって、その間に歯肉裏ができます。

◎健康な人の正常な歯肉では、歯と歯肉の間に一ミリ位の歯肉嚢がありますが、歯槽膿漏症にかかりますと、二ミリ以上になり、歯から離れやすく、その間に歯石や、食物の残りが入りやすくなります。

◎歯肉を指で押したり、何もしなくても歯と歯肉の間からうみが出てきます。

◎歯は正常な場合でも、生理的にわずかに動きますが、歯槽膿漏症では、歯の根の部分が骨から離れてしまう傾向があります。

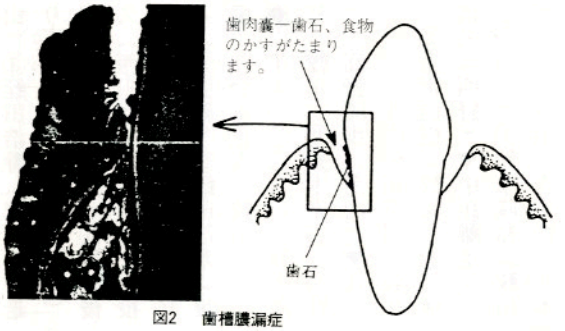


図2　歯槽膿漏症

原因

歯槽膿漏症には、局所的な原因によるものがあります。

局所的原因

口の中の清掃を怠りますと、食物の残りが歯やその周囲に付着し、やがて細菌の感染により腐敗をおこします。さらに唾液中のカルシウムが沈着して歯石になり歯の付け根に付着します。これが刺激となり、歯肉炎がおき血液のうっ血が生じて赤くはれて、痛みも生じるようになります。

全身的原因

○ホルモンの変調
○ビタミンの欠乏
○血液の病気
○年齢や体質

予防

歯槽膿漏症は、ムシ歯や他の疾患と異なって、初期の段階ではほとんど自覚がでる症状はありません。したがって気がついた時には、立派な歯槽膿漏症になってしまったという例が多いようです。一般に最も多いのは、歯肉炎から歯槽膿漏症に移行しますので、歯肉炎の予防が、大切になってきます。

まず第一に、原因となるものの除去が必要です。毎日食後のブラッシングで歯の清掃を続けることが大切です。また、歯肉のマッサージ（指を使う）をして、強く堅い歯肉にすることも重要なことです。

第二に歯垢や歯石は、ブラッシングでは落せないので、定期的に歯科医院で歯垢や歯石除去を行ってもらいましょう。歯も体の一部です。体の汚れを毎日風呂に入って落すのと同様に、歯もその都度、汚れを落しましょう。特に子供からの習慣は最も重要なことです。



親と子の運動会



去る9月24日、鮫川幼稚園で親子運動会が開催され、74名の園児とお父さんやお母さん、おじいちゃん、おばあちゃんなど家族の人たちと楽しい一日を過しました。

老人介護の2人に感謝状



長い間、寝たきり老人の介護に努めた、堀川冬子さん（青生野）と、金沢キワさん（西野字前田）に、このたび、日本赤十字社県支部長から感謝状が贈られ、村から伝達されました。



このたび、水野茂男さん（＝大字西山字宝木）は、近くの山で珍しいものを見つけました。

図鑑で調べたところ、「オニフスベ」という食用きのこで、大きさが19cm、重さは450gもありました。

文芸

俳句

草刈りがたのしみとなる草刈機　押野　山本　恵子

ことば少なの母の教えの栗の飯　宿ノ入　田中　義明

分校の土手から土手へ萩の花　鮫川高校　沢　章二

鰯雲絵馬は四足を揃えけり　道少田　山本　朗史

葛山のぬくもっている資料館　反田　国島　紀元

窓越しの遅咲カンナ雨に冴え　新宿　斉藤　信子

友の声ひびきつんつん吾亦紅　反田　小山田清哲

腕に汗流るるままにサイロ積む　横座　矢吹　茂

いわき市　金沢　暁舟

園児らの列乱れ行く夏帽子　大塩　矢吹　呂孝

太鼓の音いづこのむらぞ月上る　道少田　山本五十鈴

葉鶏頭おどろに炎える曲り角　横座　矢吹　茂

短歌

弁当のふたを開ければ漬茄子の香り漂よう妻の手造り　岫長　北條　平

女の孫にせがまれて買う五百円のこの指輪にもかかる消費税　名下　須藤美代子

「お母たんはのんのんさんになったよ」と教える園児に添寝するわれ　新宿　関根　京子

花いくつ咲かせし畦の芙蓉にも支柱を添えしひとおもいおり　大石草　鈴木イミ子

メロデーをながして今宵湯の宿に踊るステップかろやかなりし　前沼　岡部よしい

紅バラに含みし露にわが指を染めてあそべり朝のひととき　宿ノ入　宗田　俊江

子らとして空き缶などを拾いつつ道路愛護の日をしたしめり　本坂　円谷　好男

嫁ぐ日も近ずきている娘とつくる料理の数もあといくつかに　本坂　藤田　初枝

朱の橋を善男善女あまたゆくなにを祈るやお不動さまに　広畑　岡部ヒサ子

いなければ互いに探しあうものを寄れば喧嘩す幼な兄弟　関口　藤田　マサ

柳状に垂れこぞり咲く萩の花紐張り起せば花の美極む　新宿　杉山　忠男

吹き上げる風に青葉のひるがえり白き葉波は峯さしてゆく　越虫　星　武

老齢八十かかわりもなく母の日を迎え亡き母夢に顕つ　青生野　吉成　タカ

寝そびれしわれに拘りもなく夫のいびきの耳にひびきて　酒垂　石井　カヤ

農作で運動会に人々は活気みなぎり跳びはねまわる　新宿　長田　正男

農委だより

水稲の作柄状況を調査



農業委員会では、九月二十六日村内一円にわたり水稲の作柄状況調査を行いました。

今年の水稲作柄状況は、七月の初旬から九月の上旬までの平均気温が二〇度以下になることなく、平年並みの気温経過となり、日照時間も多照で経過したため、平年作の収量が見込まれています。

生育状況を見ますと、四月から五月の中旬まで、日照が心配されましたが、その後六月、七月の梅雨期が比較的雨量が少なく順調な経過をたどり、気温も六月初めに一時低温注意報が出ましたが、その後順調に経過し、雨量も八月に平年を上廻る雨量を記録しましたが、水稲の作柄にはほとんど影響なく推移し、台風も今までになく本土上陸の心配がありましたが大きな被害には至りませんでした。

また被害の状況ですが、昨年の冷害の教訓を生かし、今年は、管理面においてそれぞれ積極的に消毒等実施され、イモチ病、害虫による被害も少なく、平年作は見込まれるものと調査をいたしました。

今後は、乾燥調製に注意し上位等級の確保に努めましょう。

東北地区農業委員会現地研究集会に参加

去る九月十二十三日の二日間宮城県仙台市民会館において、「平成元年度東北地区農業委員会現地研究集会」が開催され、国井会長と高坂事務局長が出席しました。

宮城県知事をはじめ、東北農政局長、全国農業会議会長、仙台市長等来賓に迎え、農政評論家・林信彰氏を講師に、「国際化と東北農業の進路」と題し基調講演があり、「東北地区にはまだまだ埋もれた資源があり、これらを発掘することによって国際化時代の農業に結びつくものと考えられる。

また、地域の活性化に結びつくものと思われる」旨、東北地区の農業に夢と希望のある講演内容でした。

続いて、事例発表があり、秋田県大内町、福島県鹿島町岩手県柴波町、宮城県米山町の各農業委員会会長より、むらづくりと地域活性化並びに農村の花嫁対策、農業委員会の活動等を中心にそれぞれ発表があり、東北大学農学部教授河相一成先生、全国農業会議所柳沢和夫事務局長を助者に活発な質疑が行われ大会を終了しました。

また第二日は、宮城県亘理町の荒浜農協を視察し、水田農業確立対策による転作の団地化、集団による土地利用の活動状況等について現地視察をし、二日間の研修を終了しました。



農地流動化促進強調月間
10月1日～11月30日

十月一日から十一月三十日までは「農地流動化促進強調月間」です。

農地を貸したい人（貸し手）又は、農地を借りたい人（借り手）で、次のような要件に該当する方は、農業委員会又は、地元農業委員さんにご相談ください。

〔貸し手農家〕

一、経営主が高齢化で、後継者がいない。

二、兼業（他産業）に専念

三、農機具の更新時期であるが、再投資をしたくない。

四、経営規模が小さい。

〔借り手農家〕

一、経営規模の拡大をし、生産性の向上を図りたい。

二、農地や、機械施設を高度に利用したい。

三、農地の有効利用が図れる。

四、農作業等の効率化が図れる。

公民館だより

懐しのチャッキバババ玉遊び

ふるさと文化ふれあい教室第四回講座は、一七人の子供たちが参加し、高坂エイさん他八人のおばあちゃんの指導を受け、九月十七日に村民運動場で「昔の遊び」に挑戦しました。

昔の子供たちは、学校の帰りや休日になると暗黙の遊び場所に集まってきて、親分格を中心にして遊んでいたものでしたが、最近は子供たちの興味、生活形態の変化や子供の数の減少等から、子供たちが集まって遊んでいる姿を見かけることが少なくなってきました。



今回は、あやとり、チャッキ、いしけり、くにとり、パッタ、ババ玉、針ぶち等、気にいった遊びがあったら友達をさそって遊べるように、数種の遊びをひととおりやって見る程度だったため、中途でやめなければならず、うまく遊ぶ方法（勝つテクニック）等までは踏み込めませんでした。



昔の遊びは、物を使わないとか、身近にある物を工夫するとか、自分で作った物で遊んだわけですが、こういったものでも楽しく遊べるということが実感できた講座となりました。

第5回社会学級講座

第五回社会学級講座は、九月十八日から二十五日まで開かれました。

西野・渡瀬の教室では村長及び助役を講師に招き、平成元年度における事業と予算について村政教室を行いました。

富田教室では、元富田小学校長として赴任されたことのある緑川武夫先生（現在白河市公民館勤務＝社会教育指導員）を講師に招き「高齢化社会に生きる」をテーマに講話教室を開きました。



西山、中央、青生野の各教室では、スクールバスを利用して村内の主な文化財を視察研修し文化財教室を行いましたが村内の県、村指定文化財を新らためて視察し数々の知識を得た学級生も多く見受けられたようです。

グランド清掃ありがとう

九月十八日鮫川小学校児童により、青少年広場の草刈り、草むしりの奉仕作業が行われました。

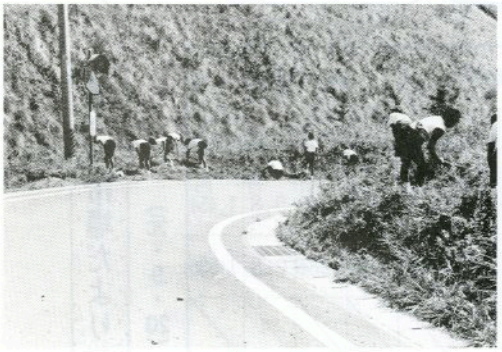
これは同校青少年赤十字（JRC）活動の一環として行ったもので、高学年生は法面下の草刈り、低学年生はグランド内の草むしりを分担して実施しました。

また、渡瀬小学校でも九月十五日に渡瀬区民運動場の草むしり奉仕作業を実施しました。

スポーツの秋に向けてグランドがすっかりきれいになりました。児童の皆さんありがとうございました。



◀村内の文化財を研修する社会学級生



◀青少年広場を清掃する鮫川小の児童たち

10月15日～21日 行政相談週間

十月十五日から二十一日までの七日間は「行政相談週間」です。

国・県や公団・事業団の仕事、村が国から委任されたり、国の補助金を受けて行っている仕事で

- 説明に納得できない
- どこに申し出たらよいかわからない
- 苦情を直接いいにくい
- このようにしてほしい……

などの苦情・要望がありましたら、気軽に行政相談員にご相談ください。

相談は無料で秘密は守ります。

毎月一回、心配ごと相談日と併せて行政相談日を設けているほか、相談日以外の電話による相談も受付けしています。

自宅で相談した方には、相談員が自宅にお伺いします。

行政相談員　緑川　操
住所　大字赤坂西野字仁田
電話番号　四九―二三六六番

心あたたまる寄附

（村社会福祉協議会）

○中内　中川西　一美様
亡母（セツ様）の遺志により　三〇、〇〇〇円

○福島市（赤坂中野字新宿出身）　金澤　和枝子様
（旧姓　角田）
社会福祉事業に　五〇、〇〇〇円

○西野沢　芳賀　シヅ様
亡夫（正一様）の遺志により　三〇、〇〇〇円

○戸草　本郷　広美様
亡母（マサ様）の遺志により　二〇、〇〇〇円

心配ごと行政相談

10月20日（金）
午前10時～午後3時
山村開発センター

なお、今月は午後1時から午後3時まで、弁護士が担当しますので、ご相談ください。

自衛官募集

詳しいことは白河募集事務所（☎〇二四八―二四―〇三七二）又は役場総務課におたずねください。

塙セリ市場だより

（元・9・20）

性別	頭数	取引価格 最高	取引価格 最低	取引価格 平均	体重 最高	体重 最低	体重 平均	平均日齢	1kg当り単価
	頭	千円	千円	千円	kg	kg	kg	月	円
雌	110	649	286	379	317	170	261	9.8	1,454
去勢	138	553	272	439	368	180	286	9.8	1,536
計	248			412					

おめでた

八月
巡ケ作　塩田寿弥　父塩田昭義

九月
青生野　大竹千奈美　父大竹伸克
下　渡邊亜実　父渡邊浩佳
仁田　矢吹　朱　父矢吹　弘
薄ケ久保　高木栄作　父高木　繁
中沢　矢吹康平　父矢吹利光
大竹　岡部美華　父岡部憲司

おくやみ

九月

歳	世帯主
西野沢	芳賀正一
54	芳賀シヅ
中内	中川西セツ
66	中川西嘉安
戸草	本郷マサ
96	本郷廣美

今月の納付

村県民税　第3期
国民健康保険税　第5期
国民年金保険料
納期限　10月25日

休日の在宅当番医

（10・11月）

月日(曜)	当番医院 棚倉町	塙町	石川町
10月10日(火)	東白川中央	車田	大野(診)
15日(日)	阿部	根本	中島・添田
22日(日)	藤田	厚生病院	大野(病)
29日(日)	勝田	—	石川中央・大竹
11月3日(金)	菅原	石川	務川
5日(日)	薄葉	—	田中
12日(日)	大木	—	矢吹
19日(日)	東白川中央	中島	三瓶
23日(木)	阿部	車田	原
26日(日)	藤田	根本	大野診・山本

ゴミの収集日

収集コース	種別	10月	11月
江竜田～中野町～福原～彦次郎～鍬木田～前沼～広畑～湯ノ田～巡ケ作～役場～保育所コース	可燃物	2.5.9.12.16 19.23.26.30	2.6.9.13 16.20.27.30
	不燃物	6.20	17
農協前～農協倉庫～給食センター～道少田～教員住宅～鮫川分校（木曜のみ）～伏木田～大塩	可燃物	2.5.9.12.16 19.23.26.30	2.6.9.13 16.20.27.30
	不燃物	6.20	17
鮫中～真坂～寅卯平～茅～酒垂～滑石～塚本～折戸～宝木～水口～落合～官沢コース	可燃物	4.11.18.25	1.8.15 22.29
	不燃物	5.19	2.16.30
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	可燃物	4.11.18.25	1.8.15 22.29
	不燃物	27	2.16.30
越虫～青生野～葉貫～戸草～蕨ノ草～湯ノ田～中沢コース	可燃物	4.11.18.25	1.8.15 22.29
	不燃物	4.18	1.15.29
官代～楢久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	可燃物	4.11.18.25	1.8.15 22.29
	不燃物	6.20	17

※　休日は、可燃物・不燃物を出さないでください。
※　ゴミは、収集日の朝に出してください。